



福島県立梁川高等学校

平成 30 年 5 月 28 日

校長通信

Team Yanagawa

vol. 24

■ 小波の立ちてうれしき植田かな（高野素十）

季節は万物が満ち溢れ草木が繁る二十四節気の一つ「小満」から一週間が経ちました。里山では田圃に水が引かれ代掻きが終わったと思っていたら、あつという間に田植えが行われています。いつもの散歩コースを歩いていると、色とりどりの花々や鳥たちの囀りに囲まれ、いのちが満ちてくる季節を実感します。道すがら水が張られた田圃は鏡のようにきらめき、吹く風が小波（さぎなみ）を立てながら早苗を揺らしていました。光り輝く季節の到来に心が浮き立つ気持ちです。また、この季節は「蚕起きて桑を食う」の言葉があるように、蚕が桑の葉をいっぱい食べて育つ頃とされています。蚕が桑の葉を食べて成長し美しい生糸を紡ぐように、生徒の皆さんには、学習や部活動への積極的な取り組みを成長の糧とし自分の夢を紡いで欲しいと思います。



■ プール竣工の歴史に想うこと

5月24日は朝から晴天に恵まれ、3年生を中心にプール清掃が行われました。前日までに水抜きされたプールの底には、泥やゴミなど一年間の汚れが溜まっており、生徒諸君はデッキブラシやプールクリーンを使って一所懸命掃除をしてくれました。おかげでこの夏も気持ちよく体育で水泳の授業ができます。紙面を借りて御礼を申し上げます。ちなみに**本校のプールが竣工したのは、昭和55年9月12日のことでした。**今から38年前に遡ります。地元の小中学校にはプールがありましたが本校には設置されておらず、PTAをはじめ本校関係の方々から強い設置希望があり、県への陳情の結果、25メートル・7コース・付属建物・給排水溝等を完備したプールが完成しました。「創立七十周年記念誌」によれば、本校の敷地は狭い上に、既設の弓道場の移転や梁川城跡の発掘調査の影響もあり設置が遅れたとあります。設置までの苦労を考えれば、待望のプール完成ということになるでしょう。9月18日にはプール開きが行われています。

ところで、水泳にはさまざまな効用があり、普段使っていない筋肉を使うことから全身の筋力をバランス良く向上させること、継続的な運動が伴うため脂肪燃焼が期待されること、心肺機能を向上させることなど、健康に大変良いとされています。また、ストレス緩和に効果があるセロトニンを分泌させたり、手と足で異なる動きを行うことから脳を活性化させたりするとの指摘もあります。つまり「**水泳は身体を鍛え、心を安定させ、学習にも効果がある**」と言ってもいいようです。もうすぐ体育の授業で水泳が始まりますが、生徒諸君には水泳が得意な人も不得意な人も、授業に主体的に取り組み、自分の技量に応じた泳法の習得や記録の向上を図り、泳ぐ楽しさを味わってくださることを期待しています。



青空の下でプール掃除をする生徒諸君



交通安全並びにSNS犯罪被害防止キャンペーン

5月23日の朝、伊達市防犯協会、交通安全協会のボランティアの皆さんと伊達警察署の方々による交通安全とSNS犯罪被害防止のキャンペーン活動が行われました。登校した生徒諸君は、皆さんからチラシを受け取り、熱心に眺めていました。県北地区のみならず他地区においても、高校生が被害者となる交通事故が多発しています。特に自転車走行中に自動車と接触し怪我をする生徒が跡を絶ちません。幸い本校の生徒が被害に遭う事故は起きていませんが、引き続き交通ルールを守り安全確認を実践することを指導していきます。また、SNSに関連したトラブルや事故に巻き込まれることのないよう、日頃から啓発と指導を行っているところです。



3 学年進路ガイダンス並びに保護者会が行われました



5月22日、3学年進路ガイダンスが行われました。全体会では、私からガイダンスの四つのねらい、すなわち、就職と進学に関する進路情報を提供することにより、①よりよい進路選択を行うこと、②保護者の皆さんに積極的に関わっていただくこと、③保護者と生徒の共通理解を図るきっかけとすること、④進路決定までの手順を確認すること、について話をさせていただきました。その後、コース別に分かれ、就職コースではTBソーテック東北株式会社様、社会福祉法人北信福祉会様、株式会社ヨークベニマル様から人事担当の方をお招きし、講話をいただきました。また、進学コースでは分科会を開いて、大学、短大、各種専門学校等の希望に応じた相談会を実施しました。自衛隊福島地方協力本部、福島県警本部から採用担当の方も来校しました。保護者の皆さんと生徒諸君は熱心に講話や説明に耳を傾けていました。



第64回高等学校体育大会県北地区大会が行われました

5月11日から14日にかけて、第64回高等学校体育大会県北地区大会が行われ、本校から陸上競技部、バスケットボール部、ソフトテニス部、弓道部が出場しました。結果は以下のとおりです。ソフトテニス部が団体で悲願の県大会への出場権を獲得、陸上部の渡邊泰幸君が昨年に続き県大会出場を決め、東北大会を目指します。

【弓道部】個人戦：3年6名・2年1名予選敗退、団体戦：予選敗退

【バスケットボール部】梁川・川俣 32-136 福島明成、梁川・川俣 36-108 保原

【陸上競技部】

男子100m・800m・1500m出場、男子5000m渡邊泰幸4位入賞（県大会出場）

【ソフトテニス部】

男子個人戦：佐藤・齋藤組が3回戦進出・代表決定戦2回戦敗退、他5ペア初戦敗退

男子団体戦：予選リーグ1勝3敗、順位決定リーグ3勝1敗、第8位（県大会出場）



県大会の選手壮行会が行われました

5月24日、県大会に出場するソフトテニス部と陸上部の選手壮行会が行われました。生徒会長の原胡堂君からは、日頃の練習の成果を発揮し、好成績を収めることを期待しますとの激励の言葉がありました。私からはソフトテニス部には一回戦の突破を目標に心と体を整え持てる力を出せるように、陸上部の渡邊君には気負わず、焦らず、自分のペースでレースに臨むように話し、結びに応援歌第二番の歌詞を朗読し、激励の言葉としました。最後に全員で校歌を斉唱し、選手を送り出しました。



中間考査が終了しました

5月22日、4日間にわたり行われた中間考査が終了しました。定期考査は授業における学習内容の定着度を測るとともに、単位認定にもつながる大切なテストです。生徒諸君は正々堂々、全力で取り組んでくれました。今後も定期考査の意義を理解し、一所懸命取り組んで欲しいと思います。お疲れ様でした。

東京梁高会に行ってきました

5月17日、アルカディア市ヶ谷で行われた第11回東京梁高会に出席してきました。東京在住の同窓生を中心に、昭和29年から37年卒業の総勢50名の方々が出席されました。私からは挨拶の中で梁川高校の現況について説明させていただきました。同窓生の皆さんは2年ぶりの再会を祝い旧交を温めていました。また校歌斉唱、村上ファミリーのコンサート、記念撮影等、盛りだくさんの内容であつという間に楽しい時間が過ぎていきました。

読書の木が育っています

図書館前の廊下で「どくしょの木」を育成中です。生徒の皆さんが読んだ本が葉っぱとなり増えるしくみです。皆さんで「どくしょの木」を育てましょう。

